



114
2331

十月廿五日

總裁
補

如鏡初

局

社公修身局

大清光緒十一年四月

1972

本局承辦各項
 事務如有
 不便之處
 請即函告
 以便查核
 此佈

各港稅關職制

長官一員

長官、租稅處之責任トス

本港稅關中諸官員、首長ニシテ本港内外出入ノ租稅ヲ管理スルニ當リ、關中諸官員ノ處務ヲ指令シ各課ノ事ヲ斡理ス

關中諸般ノ事務成規ト章程トニ照シテ之ヲ踐行脩整スルニ於テ、寮頭ニ對シ擔保ノ責任ヲ負ス、掌管ノ事務

諸般事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

凡ソ稅關ノ事務、概シ皆諸港ノ法例ニ準テ之ヲ行ハシメ、

右ノ五員

總裁

ニ於テ察頭ニ對シ其當否ヲ論辯スル
ヲ得ル諸課ヲ察立シ規則ヲ更革ス
ルハ察頭ノ決判ヲ乞フ之ヲ處置スシ
関中定額官員ノ能否勤惰ヲ監
視シテ之ヲ進退黜陟スルハ察頭ノ
決判ヲ乞フヲ要セス然レモ奏任官
及ヒ外屬人ヲ進退シ及ヒ定額外員
ヲ增加スルニ至テハ審案具狀シテ察
頭ニ呈シ其決判ヲ請フ

次官

長官欠員或ハ公務ニ依リ他港税関へ
出張シ及ヒ其他ノ事故ニヨリ欠席スル
事アレハ一切長官ノ職掌ヲ代理スルヲ
得ル然レモ官員ノ進退黜陟ニ至テハ
必ラス察頭ノ判ヲ乞フ之ヲ處置ス
以上之ヲ奏任官トス

大屬 三員

權大屬 三員

中屬 六員

權中屬 六員

ニ於テ察頭ニ對シ其當否ヲ論辯スル
 ヲ得ル諸課ヲ廢立シ規則ヲ更革ス
 ルハ察頭ノ決判ヲ乞フ之ヲ處置スシ
 関中定額官員ノ能否勤惰ヲ監
 視シテ之ヲ進退黜陟スルハ察頭ノ
 決判ヲ乞フヲ要セス然レモ奏任官
 及ヒ外屬人ヲ進退シ及ヒ定額外員
 ヲ増加スルニ至ラハ審案具狀シテ察
 頭ニ呈シ其決判ヲ請フ

次官

長官欠員或ハ公務ニ依リ他港稅関へ
 出張シ及ヒ其他ノ事故ニヨリ欠席スル
 事アルハ一切長官ノ職掌ヲ代理スルヲ
 得ル然レモ官員ノ進退黜陟ニ至ラハ
 必ラス察頭ノ判ヲ乞フ之ヲ處置ス
 以上之ヲ奏任官トス

大屬 三員

權大屬 三員

中屬 六員

權中屬 六員

官各三港各員

少屠 十一員

權少屠 十二員

十四等 十員

十五等 十員

譯官

一等譯官ヨリ七等譯官迄便宜置之

監吏總長 一員

監吏副總長 一員

監吏長 一員

監吏副長 一員

長官次官ノ指令ニ從テ各課ニ執キ

從事スヘシ

以上之ヲ判任官トス判任官ハ右定員

ヲ目的トシ人員ヲ増スルヲ得ル即チ六屬

一員ヲ廢シ少屠兩員ヲ置等ハ長官

ノ權ニ附ス

大監吏 三員

中監吏 二十員

少監吏 三十六員

以上之ヲ雇勤士官トス右定員ヲ目的
トナシ即チ七、監吏一員ヲ廢シサ監吏
二員ヲ置等ハ長官ノ見込ニヨリ實際
ノ便宜ニ任ス

檢査課

貨物ノ偽ヲ精査シ度量ノ虛實ヲ
詳檢シ差出各積荷目錄ヲ對較
シ現價原直ヲ會照シ姦詐ヲ觀
發掃スルノ度務ヲ總管ス

收稅課

出入及其他ノ願書ヲ受テ免狀ヲ
付シ船舶ノ手殺料物品ノ運上金
並ニ各頂ノ收納金ヲ收領シ且物品
買上代ヲ賣主ニ付与スル等ノ度

務ヲ総管ス

倉庫課

火災請合貨物ノ出入借庫ノ開
閉上屋ノ進退上陸場ノ検査
等ノ事務ヲ総管ス

文書課

内外應復ノ申牒関中例則編
纂及簿記書籍新聞紙等
ノ出入ノ支務ヲ総管ス

諸務課

関中一切ノ雜務ヲ幹理シ及ヒ檢印ヲ
免狀ニ捺押シ税金ヲ本寮ニ回送シ
其他金銀ノ出納用度ノ付給館柵ノ
當繕官員ノ月給等ノ支務ヲ総管
ス

監吏課

海陸ヲ巡警シ密高脱税ヲ謀ル徒
ヲ監視發摘スル等ノ事ヲ總管ス

右^{各港}横濱税関職制改正後各条履行踐守ス

可キ事

大藏省事務總裁

明治六年十月

奏議大隈重信